

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月18日(水)

事務事業		砂ぼこり対策事業				担当課	農業振興課	担当係	農業政策係	管理番号	36112
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり				根拠法令 個別計画等				
	小項目	1	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援								
	主要プロジェクト										
事業概要		春先に、深谷・藤沢・南・岡部地区を中心に発生する砂ぼこり対策について調査・検討を進めるため、深谷市砂ぼこり対策協議会を設置している。協議会において深谷市が実施する事業について協議し砂ぼこり対策を推進している。									
目的 ※何のために		砂ぼこりを抑制し、優良土壌の飛散防止と快適な地域環境を創出する									
対象 ※誰・何を対象に		砂ぼこり発生地域の農地及び周辺の農家及び非農家									
手段 ※どのように		農業者や地域住民に対し砂ぼこり防止に向けた啓発活動を推進するとともに、砂ぼこり発生対策として緑肥作物の作付や防風ネットの設置等を推進する。									
成果 ※何を求めるか		砂ぼこり発生の抑止									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)			
本事業の 主な業務		・要望に応じた防風ネットの設置					・				
		・対策の啓発普及					・				
		・					・				
		・					・				
		・					・				
		・					・				

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画	・防風ネットの設置					
事業費	予算(現額)	600,000	742,000	0	0	
	決算額	336,600	741,930	0	0	
	財源内訳					
	国支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
人件費	他特定財源	0	0	0	0	
	一般財源	336,600	741,930	0	0	
	従事職員数(人)	0.09	0.16	0.16	0.16	
人件費相当試算※		708,261	1,281,627	1,315,559	1,364,451	
総事業費試算		1,044,861	2,023,557	1,315,559	1,364,451	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	啓発普及の実施回数	目標値	件	4.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		実績値	2.00	2.00	3.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		広報・農委だより・市ホームページ / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
活動指標 2	砂ぼこり対策の対応依頼件数	目標値	件	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		実績値	3.00	2.00	4.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		対策依頼箇所の検討による / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
成果指標 1	防風ネット延長	目標値	m	120.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	
		実績値	51.00	63.00	22.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		予算内で実施可能な延長としている / 工事の請負契約書等による							
	実績値の算出式									
成果指標 2	砂ぼこり発生による苦情数	目標値	件	2.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	
		実績値	5.00	6.00	4.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		苦情対応による(苦情受付簿) / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	啓発普及については、農業委員会が発行する「農委だより」に記事を掲載し、対策の啓発普及を行った。 また、防風ネット設置については、効果が見込める農地の地権者と設置交渉を行った。 設置した防風ネットの協定期間が終了したものについて(3件)は、年度末に地権者へ引き渡した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	防風ネットの設置については、効果が見込まれる個所に1件、約22mの設置を行ったが、目標には達しなかった。 また、砂ぼこりに対する苦情件数は4件で、目標を下回った。
			評価者 農業政策係長 設楽英隆

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	砂ぼこりについて、根本的な対策が難しいため、効率的な対策を研究していく必要がある。
			評価者 農業政策係 設楽英隆